



と も に

2019年12月18日



京都へ校外活動に行きました。

どの班も阪急伊丹駅を出発し阪急四条河原町駅に無事到着し、最初のチェックポイント円山公園で藤中先生のチェックを受けそれぞれの班別活動が始まりました。

昼食場所の京都市国際交流会館では、皆さんが楽しそうにお弁当を食べて、くつろぐ姿がましく感じました。また、そこでみせてくれたカメラの中の写真は、なかなか工夫して撮っており驚きました。

最終、南禅寺に集まった1～3組は、京都の紅葉を楽しむ観光客の混雑で交通渋滞が起こり、なかなかバスが来なくて寒い中待たされるアクシデントがありました。学校に着くまでバスレクで盛り上がっていた人や車内の暖かさにぐっすり眠った人とそれぞれくつろいでいました。結局平安神宮集合の4～6組に遅れること約30分遅れて帰校しました。しかし、皆さんは元気で満足そうに見えました。良い経験だったようで安心しました。この経験を次の沖縄へ繋げてください。

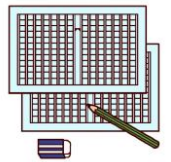


保護者の皆様へ

11/28(木)の校外学習では集合時間が早く、お弁当の準備など大変お世話になりました。ありがとうございました。おかげ様で生徒たちは班長のリーダーシップで班の仲間と協力し良い班活動が出来、大きく成長したようです。

11/29(金)のオープンスクール、12/5(木)～11(水)の三者懇談では、学校へご足労頂き感謝しております。日頃、進路通信「あなたと210(+13)人」でもお知らせしています進路について、三者懇談でも話題に上ったでしょうか。冬休みは良い機会です。ご家庭におかれましても、是非ご家族みんなでたくさん話し合ってください。

作文 2学期を振り返って その1



2学期を振り返って

K.T.さん

2学期は個人で頑張る。というよりは皆で協力し、仕事を分担し、皆が責任を持つというイメージがとても大きかったです。

まず気付いたことは、大人数の中では自分の意見が絶対に通るとは限らないこと、そして皆の気持ちが決して同じではないということです。スポーツが苦手な体育大会が楽しめないと考える人もいるだろうと、分かっていました。負けた時に「いいやん！最下位やったとしても努力したことは変わらんし、思い出は思い出やん！」と言われた時、勝つことばかり考えていた自分が何だか情けなく感じた瞬間でした。

連合体育大会でのリレーでは、私は補欠でした。自分の中では補欠はあまり良いイメージが無く、何だかカッコ悪い気がすると思いついていました。リレーメンバーが怪我をして欲しいなどと考えた事も無かったし、タイムの一番遅い自分が出るとなればきっと負けるから怪我なんてして欲しくないとも思っていました。しかし連体当日、誰一人ケガすることなくウォーミングアップを終えてメンバーが移動するとき、「補欠だからって、嫌がらずに支えてくれてありがとう。」と言われた時は、周りから見てそう思われていたんだと思うと、とても嬉しかったし、補欠になれて良かったかもしれないと感じました。一人だったらきっと気付くことが出来なかったことをクラスや学年を通して身に染みて感じた気がしました。行事ともなると全部上手くいくわけではありませんでした。何回ももめたりすることもありました。でも、もめた後の空気は、何だかすっきりしたように私は感じました。これから先も、人と関わっていくうちに、きっと納得のいかない事がたくさんあると思います。でも、それを乗り越えられたなら、また成長したんだと思えるような自分になりたいです。

クラスの皆と共に

S.M.くん

2学期は、大変忙しかったです。行事が沢山あって、その度にクラスの皆と励んできました。どの行事も決して忘れることのない大切な思い出になりました。自分は結構、「どれも良い思い出だったな〜。」なんて思うことこそ、自分の中では大変珍しいのです。合唱コンクールでは、1位に輝いた時から、そう思っていました。まさか、交歓音楽会に出場できるのなんて、夢のまた夢の話だと思っていたので、決まった時、自分の心の中は歓喜が溢れていったのです。

いつも僕はテスト前になると自分の中の輝いていた物が消えて、自分の中が絶望感でいっぱいになるのです。そして、いつも自分の前のことから逃げているのです。それだから僕はいつまでたっても成長できず、エゴしかない人になってしまうのです。次のテストでは、自分の期待以上の点数が取れるように全力を尽くします。

僕はいつも独りで暗闇の中に佇んでいると言った^{けいぜんてき}愀然的(※)な考え方をしていると思うときがあります。班で行動する時に限っていつも何か淋しさを感じてしまいます。今回の校外学習は京都の平安神宮の周辺のお寺や神社を巡るという内容でした。「この校外学習も、そうなるのだろうか。」という^{おそれ}虞が強まっていたのですが、そんなことはなく京都の粟田神社に行ったときから、何か今迄と雰囲気が違うな、と思いました。班で何処に行くか具体的な内容を決め、それらを巡った時の時間の速さといったら、途でもなかった(※)です。楽しくてあっという間で、終わりの時間になった時は大変驚きました。校外学習では、琵琶湖疎水記念館や岡崎神社などを参拝させて頂きました。とても楽しかったです。次の校外学習は沖縄ということもあり、とてもわくわくしています。終わった時は、終わってしまったという虚しさと、もうこの班で二度と班活動が出来ないんだという、寂しさと己の^{ぜいじゃく}脆弱さに^{ひど}酷く^{もだ}悶えていました。次の校外活動も楽しい思い出になれば良いなと思っています。

(※) 愀然…孤独な様子、頼りないさま (※) 途でもない…「とんでもない」と同じ意味